

PTU の味

学習目標：ある味を感じる人と感じない人がいることを知る（一つの遺伝的特徴）

本コンテンツでは「遺伝的特徴」の一つである味覚を確認する。PTU 液が浸み込んだろ紙を舐めて、味がする、味がしない、といった自分の特徴を確かめる。

- 資料1 シナリオ（小学校高学年用） [シナリオを希望する方は制作者に連絡してください。](#)
- ・低学年に実施する場合は、学習支援者が必要
 - ・幼児で実施する場合は、PTU（プロピルチオウラシル）を浸み込ませていない濾紙を準備し、実験方法の練習と味の比較するなどの工夫をしている。
 - ・中学生以上では、その他のコンテンツと組み合わせ、PTU の味の一部を遺伝学習の導入として用いることもできる

資料2 学習配布資料（例）

資料3 準備物品

*本コンテンツは、ワシントン大学の遺伝教育プログラム等を翻訳し、日本の文化や子どもたちの興味を考慮して改変したプログラムです。別で紹介する「特徴探し」、「遺伝の木」、「特徴ゲーム」、「パスタ遺伝学」、「つまようじの魚」のコンテンツと組み合わせて、ワークショップを構成することもできます。 <http://www2.am.nagasaki-u.ac.jp/genetic/pdf/gep.pdf>

PTUの味 あじ この味がわかるかな？ あじ

ふ ぶん した
この部分を舌の上のせて、
こころ びよう
心の中で10～20秒、数えてみましょう。

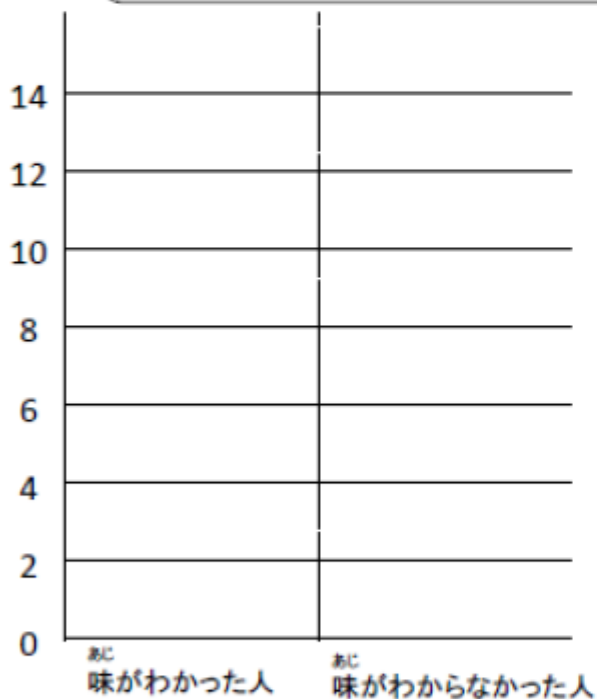


どんな味がしましたか？

あじ
味がわかった人 ()人

あじ
味がわからなかった人 ()人

ががくしゃ じっけん
科学者は実験してわかったことを、くらべたり、
かんが
考えたりするために、グラフをつくります。



男子

女子

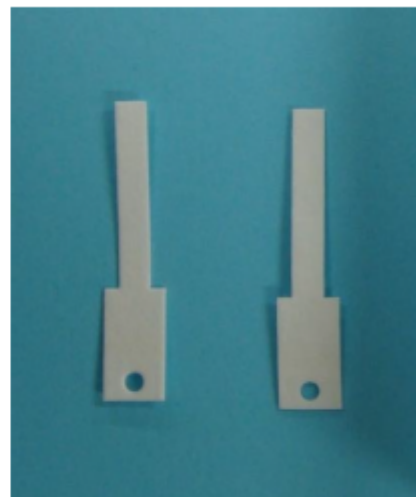
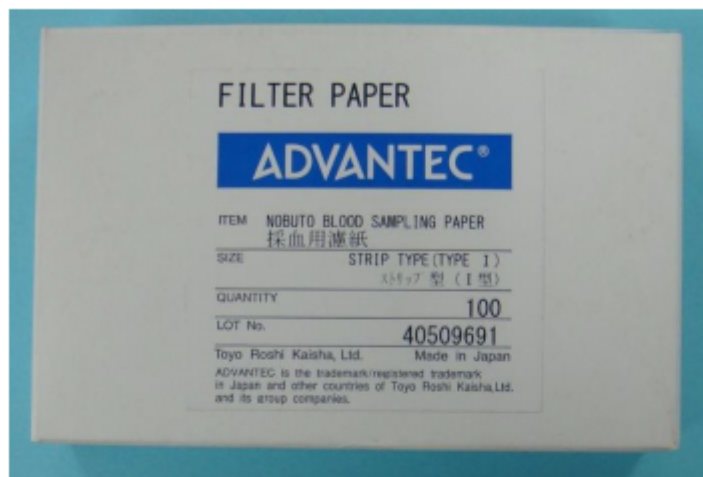
み か
グラフを見て気がついたことを書いてみましょう



あじ かみ け いろ め かたち
「PTUの味がわかる/わからない」「髪の毛の色」「目の形」・・・
からだ かたち せいしつ とくちよう
このような身体の形や性質のことを『特徴』といいます。
にんげん とくちよう も りようしん りようしん
人間は、いろんな特徴を持っていて、両親、そのまた両親から
せんぞだいたい
先祖代々うけついでいるんだよ。
からだ とくちよう いでん
身体の特徴をうけつぐことを『遺伝』といいます。

- ・PTU 試薬をしみこませたろ紙

PTUはPTU溶液0.25~0.5%程度で作成し、ろ紙に染み込ませ、乾燥して準備もしくはSuper Taster Testという既製品もある



長崎大学では、ADVANTEC社のろ紙を使用している。1000枚入り 1500円程度

- ・あめ玉 (PTUテスト後の口直し用)
- ・マグネット 男子：赤 女子：緑 各人数分
- ・グラフ： 1段の高さをマグネットの長さに合わせて作成

